



**令和8年度大学入学共通テスト出願方法の変更**

61期生が受験する令和8年度大学入学共通テストの出願手続きでは、昨年度までと違い、電子化されるという大きな変更点があります。【表1】【表2】6月中旬以降は、必ず「大学入試センター」ウェブサイトを確認してください。

**【表1】大学入学共通テスト出願の主な変更点**

	昨年度 (令和7年度入試)	今年度 (令和8年度入試)
受験案内の配付	令和6年9月2日(月)から個人及び学校等単位に配付	令和7年6月中旬「大学入試センター」ウェブサイト『受験案内』を公表予定。※配付は行わない。
出願期間	令和6年9月25日(水)～10月7日(月) ※消印有効	【予定】令和7年9月16日(火)10:00～10月3日(金)17:00
検定料払込期間	令和6年9月2日(月)～10月7日(月)	【予定】令和7年9月16日(火)10:00～10月3日(金)23:59
払込場所	「ゆうちょ銀行又は郵便局の受付窓口」又は「払込書裏面記載の銀行の受付窓口」	クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー) ※手数料(188円)が別途発生
出願方法	高校卒業見込者は学校経由	全ての志願者が <u>個人</u> で <u>出願する</u> 。

**【その他】**

- ① 検定料は変更なしの予定  
(3教科以上:18000円 2教科以下:12000円)
- ② 成績の閲覧を希望する場合は、出願時に成績閲覧手数料(300円)を検定料と併せて支払うことで、マイページ上で自身の成績を閲覧することができる。(ただし、令和8年4月1日～4月末のマイページ利用期間終了まで)
- ③ インターネットが利用できない環境の場合  
※7月1日以降、専用電話に問い合わせる。

**【表2】令和8年度出願で留意すべき事項**

出願前	(1)準備が必要なもの ① インターネットに接続された電子端末とメールアドレス ② 顔写真データ (令和7年7月1日以降に撮影したもの) (2)マイページの作成 (作成期間:令和7年7月1日～10月3日まで) ※「大学入試センター」のウェブサイト上から「共通テスト出願サイト」にアクセスし、志願者自身がアカウントを登録の上、マイページを作成する必要がある。そして、大学入学共通テストの出願等に係る全ての手続き(出願内容の登録・訂正、受験票の取得、成績の閲覧等)は、志願者がマイページで行うことになる。
出願後	(1)出願内容の確認・訂正 ※マイページ上で行う。 【確認・訂正期間】令和7年10月10日(金)10:00～10月17日(金)17:00 (2)受験票の習得 ①12月上旬からマイページ上で志願者が各自で取得する。 ②受験票がA4サイズの白色用紙に印刷(白黒・カラーは問わない)の上、試験当日に持参すること。 (3)志望大学への出願について ①Web方式 志願者が志望大学の出願サイト上で申込番号等を入力する。入力する申込番号等はマイページで確認する。 ②チケット方式 志願者が「成績請求チケット」を志望大学へ提出する場合はマイページ上で取得し、印刷する。

## 受験を振り返って

千葉大学文学部人文学科行動科学コース合格

(担任のコメント) 探究心が旺盛で、とにかく何ごとにもチャレンジしようとする姿勢が素晴らしく、そして担任よりも受験に対して戦略的な生徒でした。千葉大受験前に青山学院大を受験したのも、千葉大での面接と小論文の受験対策として選んだものでした。

私は学校推薦型選抜で千葉大学文学部人文学科行動科学コースに合格しました。高校3年間を通して大切だと思ったことが主に3つあります。

1つ目は、1年次から様々な経験をしておくことです。1年次の頃は何に興味があるのか、将来どんなことをしたいのか、明確に決まっていなかったので地元のボランティア団体に所属し、多くのことを経験しながら自分の得意不得意を探し始めました。2年次に県の国際交流事業でマレーシアを訪問し、日本では体験することのできない‘非日常’を経験することができました。そこから国際的なことに興味があると改めて知ることができました。

2つ目は、スキマ時間を有効活用することです。私は毎日片道1時間電車で通学していたので通学時間は貴重でした。英単語や古文単語などを暗記したり、その日の授業の復習等を行いました。推薦受験前は小論文の書き方の本や専門用語を調べて知識を蓄えました。通学中は書く作業が難しいからこそ、読んだり聞いたりすることで時間を有効活用しました。また、始発で行くことで朝課外の前にまとまった時間を作ることができ、集中して学習することができました。

3つ目は、優先順位を考えることです。特に推薦入試だと授業や休日課題と推薦対策を両立しないといけないので、一般入試よりも課題が増え負担が大きくなります。そこで、まずやるべきことを書き出し、優先順位をつけておくことで何を優先すべきかわかるようになりました。できるものは早めに終わらせることと、たまには力を抜くこともポイントだと思います。

この3つを念頭に置いて高校生活を過ごしたことで希望の大学に合格することができました。

最後に、支えてくださった先生方、家族、友人、周囲の方々に大変感謝しています。ありがとうございました。

### 〈受験した教科の学習方法・工夫・反省〉

小論文・・・毎日先生からの課題の小論文を書きました。ネタ帳ノートを作り自分の学部に関することや世界情勢についてメモし、そのことについて自分の考えを書きました。

面接・・・面接用メモ帳に想定される質問とその答えを書いていきました。質問はChatGPTを活用しました。また、友だちと面接官と受験生を交互にすることで面接官がどこに注目するかを知り、客観的に考えられるようになりました。

私は千葉大学を受験する前に自己推薦で青山学院大学も受験し、小論文や面接を夏休みから練習していたことも合格に繋がったと思います。

### 〈後輩のみなさんへ〉

受験は本当に団体戦です。クラスメイトや友だちとみんなで楽しく受験を乗り切ってください。困った時は先生方、家族、友だちに相談してみてください。夜眠い時は思い切って寝て、元気な時に集中するのがオススメです。応援しています！